

NEWS!

Vol.37-1
No.187
平成30年1月号
編集・発行
松浦機械製作所

謹賀新年



明けましておめでとう御座います。

昨年は、年初に米国トランプ大統領が就任しトランプ旋風が巻き起こりその影響で世界が右往左往する事態に、欧州では一時席卷していた反EU勢力は時間の経過とともに下火となり、北朝鮮情勢の激化や国内の学校法人土地取引に関する政治問題や大手企業の行き詰まり・不正問題等々、色々騒がしい1年ではありました。一方、工作機械業界は、主たる製造業が多忙となり、自動車、建設機械、特に半導体やロボットのハイテク産業の旺盛な設備投資需要が牽引し、仕事量が大幅に増えました。加えて、為替は円安基調で安定的に推移し、株式相場は通年で上昇傾向を辿りまして、好況を支える要因となりました。日工会は、期の途中で年間の総受注を1兆3,500億円から1兆5,500億円に上方修正し、本原稿執筆時点で11月分までの速報値ベースの累計額は約1兆4,800億円となり、過去最高を越える勢いがあります。押しなべて2017年は、業界全体として大変活況な1年でありました。

そんな環境下でマツウラは、3月にさらなる造形・切削時間の短縮を実現したハイブリッド金属3Dプリンタ **LUMEX Avance-25** のフルモデルチェンジを実施、6月に東京で開催された設計・製造ソリューション展 (DMS2017) にて金属3Dプリンタの先駆者として多くの来場者の注目を集めました。

また9月ドイツ・ハノーバーで開催されたEMO2017 (欧州国際工作機械見本市) では、一昨年市場投入し大変好評を得ている5軸制御立形マシニングセンタ **MX-330 PC10** に続き新機種 **MX-520 PC4** を展示、上位機種 **MX-520** でも同じ簡単・自動化対応のコンセプトを展開、お客様の長時間稼働の要望に対応しました。加えて高性能とコストパフォーマンスを実現した立形マシニングセンタ **VX** シリーズの小型機種として **VX-660** を披露し、欧州市場でも小型3軸立形機の需要を掘り起こしました。

新年を迎えるにあたり、2018年も余程突発的なことの無い限り、昨年の力強いトレンドが続くというのが大方の予想になっております。5軸マシニングセンタを中心としたさらなる開発と金属3Dプリンタの販路拡大をより進めながら、工作機械への高い投資意欲という材料に対し、部材調達最適化や生産システムの効率化を推し進め、如何にタイムリーに対応処理できるかの勝負の1年だと思えます。

本年も引き続き、格別のお引き立てを賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。 株式会社松浦機械製作所
代表取締役社長 松浦 勝俊

日本のヘソ

福井 No.185



福井は日本のドマン中「日本のヘソ福井」第185回目は「ホッケー」の話です。スポーツでホッケーと言えば、アイスホッケーが有名ですが、今回のホッケーは、アイスホッケーと同じくスティックを持ってフィールドで11人がプレイする競技です。

現在福井県下には、スポーツ少年団で4団体、中学校では男女3校 (朝日、織田、鯖江)、高校では男子2校 (丹生、武生工)、女子1校 (丹生)、大学では男子1校 (福井工大)、社会人では男女2チーム (福井ク

ラブ) のホッケー部及びクラブチームが活躍しています。福井クラブの男子チームはホッケー日本リーグにも参加しています。特に福井県越前町は、町をあげてホッケー普及に取り組んでいます。

越前町にホッケーが根付いたのは昭和43年に開催された福井国体でした。旧朝日町でホッケー競技が開催され、同時に丹生高校や旧朝日町の小中学校でのホッケー部が創部されました。以降40年の歴史を積み重ね、小・中・高校の各世代で輝かしい成績を収め、また日本代表として多くの選手を輩出しています。福井県は今年「福井しあわせ元気国体」が開催され、ホッケーは上位成績が期待される種目の一つです。